

2018/03/30

報道関係各位様
プレスリリース

平成 30 年 3 月 30 日

医療向け AI システムの共同研究を発表

【再生医療 AI: 軟骨再生の成否を AI で検知するサービスの共同研究】

人工生命時代の豊かな社会の創造をビジョンとし、SoLoMoN コンセプトに基づくサービスを提供する株式会社アドダイス(所在地:東京都台東区上野 5-4-2 IT 秋葉原ビル 代表:伊東大輔)は、本日 3 月 30 日(金)、AI(人工知能)により軟骨の欠損箇所および軟骨再生手術の成否を AI で検知するサービスの共同研究を脇谷滋之教授(武庫川女子大学教授、大阪大学招聘教授)と進める。



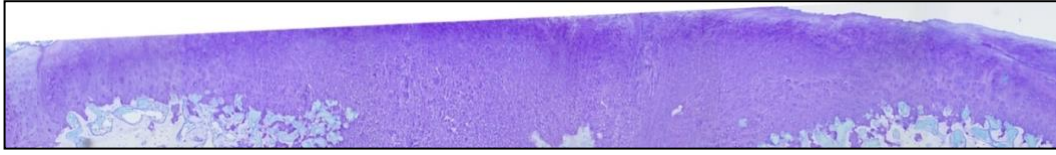
HORUS AI メディカル・クラウドが、人工知能による推論結果を示す

「HORUS AI メディカル・クラウド」は、「医療従事者を AI で反復業務から開放する！」をコンセプトに、深層学習の技術を利用し軟骨の欠損箇所および軟骨再生手術の成否を AI に学習させることにより、読影作業の時間短縮を図ります。

高齢化すると軟骨は変性します。特に膝関節の軟骨の摩耗は高頻度で、痛みを訴える患者は我が国で 1,000 万人を超えています。膝関節の関節軟骨の評価は MRI で行われますが、高齢化社会を迎えて関節痛を訴える人の増加に医師のキャパシティが追いついておらず全てを読み切ることには限界があります。関節痛の原因箇所を AI で識別することができれば、医療の品質が大幅に向上することが期待されます。

また、硝子軟骨と線維軟骨を識別することで軟骨再生手術の成否の判断を AI が支援すれば、再手術の要否を容易に判断することができ医療水準の底上げが期待されます。

本テクノロジーにより、従来熟練の技が必須であり、かつ非常に負担の重たい作業であった判断が効率化でき、検査のキャパシティが向上することで、患者の生活の質を向上させることを期待しています。



1 ウサギの関節軟骨欠損修復のトルイジンブルー染色例

■研究者



脇谷 滋之(わきたに しげゆき)

Shigeyuki Wakitani

武庫川女子大学教授

一般社団法人日本再生医療学会理事

第 32 回日本軟骨代謝学会会長

大阪大学招聘教授

大阪市立大学客員教授

信州大学診療特任教授

生年: 1958 年 3 月 31 日

出身地: 広島県

現在の研究テーマ: 骨軟骨再生、骨軟骨代謝

■サービス概要

HORUS AI

サービス名	HORUS AI メディカル・クラウド 軟骨再生
研究概要	軟骨の欠損箇所を学習する。 硝子軟骨および繊維軟骨を学習する。
URL	https://horus-ai.com/
システム開発・提供	株式会社アドダイス

■システム開発に関するお問い合わせ



会社名	株式会社アドダイス
代表者	代表取締役 伊東大輔
設立	2005年(平成17年)1月
所在地	110-0005 東京都台東区上野 5-4-2 IT 秋葉原ビル1F
TEL/FAX	TEL:03-6796-7788 FAX:03-6796-7755
URL	http://www.ad-dice.com
E-mail	info@ad-dice.com

■業態:『IoT AI 化を実現するサービスを提供』



アドダイスは Social 技術・Location 技術・Mobile、Mobility と通信 Module を Network することで情報による付加価値が生じ人工知能のフィードバックができる仕組みを SoLoMoN と呼ぶことを提唱し対応したソリューションを提供しています。

■本件に関するお問い合わせ

株式会社アドダイス 担当の伊東(090-5524-0663、info-scm@ad-dice.com)まで
お願いいたします。